

発行(年2回)
 市津地区社会福祉協議会
 【編集】広報部会
 【事務局】市原市下野 400-1
 【問い合わせ先】
 0436-37-1235

むらたがわ



コロナに負けないまちづくりを目指して
 市津地区社会福祉協議会
 会長 丸山 喜久雄

皆様こんにちは。

新型コロナウイルス感染予防のため一時的に休止していた市津地区社協の各種福祉事業は、市社協からのガイドラインが示された事により、六月から、いきいきサロン・日常生活支援などの各事業を再開することが出来ました。

しかし、新型コロナウイルスに関する様々な情報に接すると、日常生活のあらゆる面で、より細やかな注意が必要となります。幸い、この市津の地は、豊かな自然環境に恵まれ新型コロナウイルスの感染を防いでくれている感があります。しかし、油断大敵です。一人一人が気を引き締めて協力し助け合い、感染を防止できる街づくりを目指しましょう。

一步足を前へ 居心地良い
 「まち」づくりを目指して
 市津地区町会長会
 会長 山本 良一

今、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために私たちの出来る事は限られています。家族の命を守る事こそが大切な事です。しばらくは、可能な限り社会的距離をとって暮らしていただきたいと思えます。必ず、皆様の知恵と工夫が、課題解決をしてくれると信じています。

さて、人と人のつながりが希薄になりつつある昨今、今できることが制限される中、市津地区第二層協議体を中心に「出し支援事業」実施に向けて尽力されていることに対し、関係者の努力に深く敬意を表します。町会長会としても、みんなで助け合う地域社会をめざして関係機関及び諸団体と協力して取り組んでまいります。みんなつながれば夢はかなう。浅く、広く、ゆるく、つながりたい。

小域福祉ネットワークの様々な活動の中から、今号では、『安心生活見守り支援事業』の取り組みについて紹介します。
 『安心生活見守り支援事業』…地域からの孤立を防止し、誰もがいくつになっても、どんな時でも住み慣れた地域で安心して暮らせるように、希望者に、隣・近所の人からの声掛けや見守りで支援する事業です。

市東第一小学校区小域福祉ネットワーク

利用会員：25名 支援会員：32名

ここ数年は、利用人数が横ばいとなっていますが、「地域の住民同士が、継続的に見守り活動をしている」ということが地域福祉活動を推進していくうえで大事だと考えます。すぐに効果が出ずとも、継続していくことが信頼に繋がり、安心して住み続けられる市津になるよう、これからも地区社協、民児協などの関係団体と連携を取り活動して参りたいと思います。

会長 大塩 順子

市東第二小区小域福祉ネットワーク

利用会員：10名 支援会員：21名

大きな活動の一つとして『安心生活見守り支援事業』を引き続き実施しています。対象者は、1人暮らしの高齢者・高齢者世帯等です。およそ1ヶ月に1、2回の訪問でお話し相手(安否確認)をさせていただきます。

近隣との繋がりが、一番の安心となります。希望される方は、気軽にご相談下さい。

会長 石田 陽司

湊津小学校区小域福祉ネットワーク

利用会員：8名 支援会員：32名

安心訪問員の主な活動は、見守りを希望した方へ隣・近所での見守り・声掛けをする安否確認です。

希望者の日常生活の変化から異常を早く発見し対応するという地味な活動ではありますが、地域の絆を大切に、更なる福祉の輪を広げる活動を展開するため、皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

会長 近藤 敏子

利用申し込みの方法 (すべての地区で)
 通年で受け付けています。年数回、町会回覧にて募集案内を行っております。見守り希望者は、町会長または、直接ネットワーク会長に声を掛けてください。「見守り希望申請用紙」をネットワークに提出して申込み完了です。



歳末たすけあい募金ご協力のお礼

新型コロナウイルスの厳しい状況下、様々に真摯な努力をされお過ごしのことと拝察いたします。平素は地域福祉に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度「歳末たすけあい募金」の寄付金額は下記の通りとなりました。

金額：836,592 円也

例年「歳末たすけあい運動」への協力として、地域の皆様から物品の寄付をいただき「福祉バザー」を開催しておりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。しかしながら、公的支援を受けずに頑張っている方々、新型コロナウイルスの影響で支援を必要とする方々に、少しでも明るく正月を迎えていただくために「歳末たすけあい募金」としてお願い致しました。

この趣旨に賛同していただき、町会を通じて多くの方々からたくさんの募金をいただきましたことは感謝の念に堪えません。ご協力いただいた募金は、市原市社会福祉協議会を通じて「歳末見舞金」「地域福祉支援事業」として活用させていただきます。

尚、来年度は再び「福祉バザー」開催を予定しておりますので、今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

地区社協事業 紹介

作業前



作業後



市津まごの手
支援件数：80件（4月から）
利用会員：52名 支援会員：48名
【11月30日 現在】



市津ひよこクラブ ミニミニ運動会



ふれあい買物ツアー



感染症対策

「喜多の原町会の紹介」

喜多の原町会会長 鈴木 利和

「喜多の原町会」は、温津小学校の周辺に住む四十八戸が加入する町会です。茂原街道の津田原と言う呼称は今ではあまり使われていません。

昔は大きな町会でしたが、分裂して今に至っています。喜多と名がつく町会が他に四つあります。少人数の町会は、住民の繋がりが深まりやすい良い面も有れば、活性化が難しいという問題もあります。

昨年、当地区を襲った竜巻は、町会の存在を見直す機会を与えてくれました。町会長として、精一杯努めてまいりたいと思います。

「古き歴史を思うべし」

古都辺町会会長 野澤 和広

市東中学校校歌にも「古都辺の郷に・・・」と、歌われている私たちの町会は山紫水明の美しい地です。

会員数は二十七戸とこの地域では特に小規模ですが、その分一人ひとりの顔が見え、いざという時に共助は心強いばかりです。とは言え、多くの町会と同様、高齢化の進行とともに独居化による戸数減少が心配され、五年後十年後の町会の姿を想像すると、暗たんたる気持ちになります。今年の新型コロナウイルス感染症対策の一環として勤務の形態もだいぶ変化し、業種によっては在宅の勤務が可能となりました。

この山紫水明の地での就業者を期待し、時の流れに町会の明るい未来を夢見たいと考えます。

『民生委員児童委員協議会について』

市津地区民生委員児童委員協議会
会長 片岡 仁

地域の皆様「民生委員児童委員・地区担当のお名前、ご存知ですか。」

民生委員児童委員は厚生労働大臣から委嘱され、守秘義務を科せられた特別職の地方公務員になります。

日頃の活動は毎月行われる定例会の参加、自己研鑽のための各種研修会等への参加、地域では子育て支援事業から高齢者の見守り、地域住民からの相談対応から行政・関係機関等への繋ぎ役として日々活動しています。

現在、市津地区の民生委員の定数は28名ですが、残念ながら8地区、8名が欠員となり隣接の委員が対応に苦慮している次第です。新たな民生委員については欠町会長様よりご推薦をいただき、地区民生委員推薦会を経て選出をされます。

更なる地域福祉の推進、健全で明るい地域社会の構築に、ご協力頂きたいと切に願っています。



【編集後記】

広報誌「むらたがわ」第18号の発行にあたり、御寄稿をお願いした団体等の皆様におかれましては、御多用の中、御協力いただき誠にありがとうございました。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、会議の開催が出来ず、年1回の発行となりました。今なお感染拡大を続けており、しばらくは予断を許さない状況が続きそうです。自分自身や周りの方、そして地域を感染から守るため、私たちの日常生活においても「新しい生活様式」を実践していきましょう。

これからも、広報誌「むらたがわ」の更なる充実に努めてまいります。 編集委員一同